

2020
(R2)



右馬光太郎

師走に入り半ばともなるとやはりいつかの寒さがやって来て日射しはいいのに温度が全く上から下りい日々でした。23日の今日は久々に緩んてホカホカ 絶好の働け日和りとなりました。正介さんは屋根やとよに溜った落葉を落したりかきましたり、私は庭の立ち枯れのまの草木や元気の竹を切り倒し... それらを燃やしている間はお樹軸をお正月の時のものに掛け替えたりと 気温が良ければ身体を伸び伸びとよく動きます。

今までの年月でこんな年はい年は初めてと思っながら迎える年末年始、行事や催し物、おつき合い等々省略されるとこんなに薄い充実味の無い一年に成ってしまうんです。令和2年を幕明けしたちまちま暮れを思いながら何一つ浮かんで来ない、不思議な年となっています。積み重なっていく歴史のページ上を私も生きていくんだという実感を持ちます。

右馬光と 遂に 私たちと生き物と小鳥と風のおこりやきと 大自然の寝息と工事の音の中の日々をワリ心置き無く 反子おはあ様の お世話とさせていたのです。つい二ヶ月前までは 101才の健康者として生活を楽しんでいましたのに 転んだばかりに車椅子の人となり マスク マスクと 正介さんや いないと不安にらけた老人に なってしまった。すーっとお元気でいられたのに その残像が強過ぎて 私たちも ツヨクではありまが お年と思えば 当り前のことです。おい分とお世話になり 本当に有り難かった おはあ様、子供達とおはあ様の お陰で いい子に育ちました。みんなでお返ししていくつもりです。和裁、お料理が得意で 作務衣と 沢山作っていたのを、おしい食事と用意していたのを、何れお習字やお上手な和歌を詠まれては 式紙に書いて楽しんでおられました。私は反子母さんのお元気なうちは この達筆の宛名書か 自中曼をしたので 大お里を返し続けよう。母の封書は元気の証しという気持ちで 続けて参りましたが、事情が変わり それがお出来なくなりました。おつき合い下さった皆様方には 心から お礼申し上げます。退院して一週間足らずで これから 元気を取り戻す歩みをみんなでお支えながらしていきます。ありがとうございました。